

交流だより



袋井特別支援学校

支援連携課

令和5年3月7日

交流籍を活用した交流及び共同学習

昨年度は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で実施できなかった学校も、感染症予防対策を考慮することで、実施することができました。交流を繰り返し行っている児童生徒にとっては久しぶりに地域の友達と触れ合うことができ、嬉しそうな笑顔が見られました。

希望する本校の児童生徒は、居住する地域の小学校、中学校に行き、お互い知り合い、学び合い、社会生活の基礎づくりを目的に取り組みました。地域で生活する基盤づくりや地域の人とのつながりに広がっていくことを願っています。本年度の取り組みを紹介します。

小学部

実施人数	実施回数
54人	99回（1回実施…24人 2回実施…9人 3回実施…18人 間接…3人）

小学部は26名の児童が新しく交流に参加しました。交流の積み重ねがある高学年の児童は、教室に入ると「〇〇さん、久しぶり。」と声を掛けてくれました。いくつか活動の紹介をします。



好きな物の紹介で盛り上がりました



プレゼントを頂きました

- ・自己紹介…学校紹介、好きな物やよく行く店・公園などを紹介
- ・レクリエーション…フルーツバスケット、ジャンケン列車、動物ビンゴ、〇×クイズなど
- ・授業…音楽の打楽器で合奏、図工の絵手紙などの制作活動、体育のしっぽ取りやドッジボールなど

また、障害や児童生徒についての思いや交流先の児童への願いを相手校に向けて手紙を書いてくださった保護者がいました。保護者の思いに児童も教員も聞き入っている様子でした。



中学部

実施人数	実施回数
6人	9回（1回実施…4人 2回実施…1人 3回実施…1人）支援学級6人

初めての交流でしたが、落ち着いて活動に参加できました。交流籍校の生徒が交流会を開いてくれて、活動を一緒に楽しみました。自己紹介では、自分の得意なことや作業学習で作っている製品を実際に見せながら発表することができました。ジェスチャーゲームではヒントをもらうことで答えることができたり、クイズを自分で考えて出題したりすることができ、活動の中で関わり合うことができました。ポーリングでは、交流籍校の生徒と話し合いをして順番を決め、楽しく活動する姿が見られました。来年度も地域とつながっていくきっかけとなる交流を進めていきます。



アンケートより

実施した保護者の方、交流籍校から「学校は違っても同じ地域に住んでいる子と交流したことでお互いを知ることができた。」「幼稚園から一緒に友達がいて、声を掛けてくれた。」「教師が説明する前に、好きなことや得意なことを、クラスの児童が教えてくれた。交流を重ねるにつれて理解を深めているのだから感じた。」などの感想がありました。来年度も保護者、本人の希望アンケートをもとに交流籍校と相談・調整して行います。

学校所在地域における交流および共同学習（学校間交流）

学校や地域との共同学習を通して、障害の有無にかかわらず地域の一員であるということを互いに認識するとともに、学び合い、認め合い、将来にわたって同じ地域で暮らす仲間として支え合って生きていく人に育ててほしいと願っています。今年度も新型コロナウイルスによる影響で直接交流が実施できなかった学校もありましたが、感染症予防対策を考慮することで、工夫してやりとりすることができました。本年度の取り組みを紹介します。

小学部

小学部は、近隣の小学校（浅羽東小学校、高南小学校、浅羽北小学校）と本校の対象学年（3年生、4年生、5年生、6年生）が学校間交流を間接交流にて行いました。

それぞれの相手校から、本校の対象学年にビデオメッセージや掲示物などのプレゼントが届き、それを見た児童たちも Zoom でダンスを披露したり、掲示物やプレゼントを送ったりしました。また、4年生は少しの時間ですが高南小学校の4年生に直接会って自己紹介カードを渡すなどの交流を行うことができました。



高南小学校の4年生と直接会って自己紹介カードを渡したよ!

中学部

花いっぱい活動（地域交流）

中学部は、新型コロナウイルスの関係で、今年度の学校間交流は残念ながら中止となりました。地域交流は実施することができたため、その様子をお伝えします。

地域交流では、中学部1年生が花の苗を植え、育てる活動を行いました。今年度は2回実施することができ、7月と10月に「花の会」の方やコメリの職員さんに苗の植え方を教えてもらい一緒に活動しながら交流をすることができました。



高等部

高等部は袋井高等学校、袋井商業高等学校、磐田農業高等学校と学校間交流を実施しました。袋井高等学校、袋井商業高等学校では、主に自主生産作業製品の展示を行う形での間接交流を行いました。互いに物を通じた交流でしたが、昨年と同様にたくさんの方に作業製品を見ていただく機会となりました。磐田農業高等学校とは、本校生徒2名、相手校9名という限られた人数ではありましたが、直接交流を実施することができました。本校農場にて、さつまいもの収穫や除草作業などを一緒にやり、互いの学習内容を知り、理解を深めることができました。

